



水道施設の点検を含む維持・修繕に関する新技術事例集 (Aqua-LIST) – 第1弾公表のお知らせ –

(はじめに)

老朽化等に起因する事故防止や安全な水の安定供給のためには、水道施設の健全度を把握する点検を含む維持・修繕を行うことが必要であることから、平成30年12月に水道法の一部を改正する法律が成立したことで、水道事業者等に対して点検を含む施設の維持・修繕を行うことが義務付けられました。また、令和2年7月の規制改革推進に関する答申では、「新技術を活用した具体的な点検方法や活用事例等をガイドラインや事例集として取りまとめる」とされています。

そこで、水道技術研究センターでは、令和3年度より新技術の活用の取組みを支援するため、水道施設の維持・修繕に関する新技術事例集(Aqua-LIST※)(以下、「Aqua-LIST」という。)として、当センターのホームページで公表する取組みをスタートしました。

以下に、10月1日に公表したAqua-LISTの内容について紹介することとします。

※Aqua-LIST事業の詳細については、ホームページ又は4ページ目以降をご覧ください。

Aqua-LIST ホームページ

<http://www.jwrc-net.or.jp/chousa-kenkyuu/a-list/info.html>

1. 10月1日に公表した Aqua-LIST の内容

5月10日より募集を開始した第1弾の募集時には、6件の応募をいただきました。8月11日に掲載審査を実施し、応募いただいた6件の掲載について委員会で承認をいただきました。そして、10月1日（金）より第1弾の Aqua-LIST として公表を開始しました。なお、掲載した技術については次のとおりです。（表1参照）

表1：第1弾公表の新技术

管理番号	新技术名称	事業者名
21-001	水道施設情報管理システム：クラウドシステム「SkyScraper®」	株式会社 NJS
21-002	効率的な保守・保全活動を実現する設備台帳システムを有する設備保全システム	株式会社日立製作所
21-003	FIC'S クラウド監視制御システム	株式会社フソウ
21-004	管路漏水監視システム リークネッツ	フジテコム株式会社
21-005	現場点検業務のスマート化およびマイクロマネジメントへの情報活用技術	メタウォーター株式会社
21-006	ウルトラパッチによる水管橋など配管の延命化	阿南電機株式会社

当センターのホームページには下記のように公表（図1参照）しており、右端の PDF ファイルをクリックすることで、新技术の情報資料（図2参照）をダウンロードできます。

※新技术事例集：<http://www.jwrc-net.or.jp/chousa-kenkyuu/a-list/list.html>

「水道施設の点検を含む維持・修繕に関する新技术事例集（Aqua-LIST）」について

新技术事例集

新技术事例集一覧及び新技术の詳細はこちら

掲載年月	管理番号	新技术名称	事業者名	水道施設の出張*	技術目次**	キーワード	評価
2021.10.1	21-001	水道施設情報管理システム：クラウドシステム「SkyScraper®」	株式会社NJS	取水、貯水、送水、浄水、送配水、計量	点検、維持、保全	クラウド、IoT、モバイルデバイス、タブレット、マイクロマネジメント実現、マイクロマネジメント、遠隔点検、安全手続、データ一元管理、点検の効率化	◎
2021.10.1	21-002	効率的な保守・保全活動を実現する設備台帳システムを有する設備保全システム	株式会社日立製作所	取水、貯水、送水、浄水、送配水、計量	点検、維持、保全	設備台帳、保守作業、保全作業、設備管理、作業記録、点検管理、点検計画、AR、VR、遠隔、クラウド、IoT、センサー、デジタルデータ	◎
2021.10.1	21-003	FIC'S クラウド監視制御システム	株式会社フソウ	取水、貯水、送水、浄水、送配水、計量	点検、維持、保全	遠隔監視、遠隔操作、点検・修繕、点検記録、AR、VR、遠隔、クラウド、IoT、センサー、デジタルデータ	◎
2021.10.1	21-004	管路漏水監視システム リークネッツ	フジテコム株式会社	漏水、送配水	点検、維持、保全	センサー（漏水検知）、漏水、計量、漏水管理、漏水アラート、漏水検知、IoT、遠隔監視	◎
2021.10.1	21-005	現場点検業務のスマート化およびマイクロマネジメントへの情報活用技術	メタウォーター株式会社	取水、貯水、送水、浄水、送配水、計量	点検、維持、保全	クラウド利用、遠隔監視、タブレット、点検記録、マイクロマネジメント、設備台帳	◎
2021.10.1	21-006	ウルトラパッチによる水管橋など配管の延命化	阿南電機株式会社	取水、貯水、送水、浄水、送配水	点検、保全	紫外線硬化樹脂、紫外線硬化樹脂、紫外線硬化樹脂、紫外線硬化樹脂、紫外線硬化樹脂、紫外線硬化樹脂、紫外線硬化樹脂、紫外線硬化樹脂	◎

図1：センターホームページに公表した Aqua-LIST



図 2 : Aqua-LIST に掲載している新技術情報（例：管理番号 21-001）

（担当）調査事業部 主任研究員 日下部 貴章

配信先変更のご連絡等について

「JWRC水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までEメールにてご連絡をお願いいたします。
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K. I. S飯田橋ビル7F（公財）水道技術研究センター ホットニュース担当
E-MAIL : jwrchot@jwrc-net.or.jp

TEL 03-5805-0264 FAX 03-5805-0265

また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー（第58号以降）は、下記アドレスでご覧になれます。

バックナンバー一覧 <http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-r3.html>

水道ホットニュースの引用・転載について

水道ホットニュースの引用・転載等を希望される方は、上記ホットニュース担当までご連絡をお願いいたします。なお、個別の企業・商品・技術等の広告にはご利用いただけません。

Aqua-LISTのご紹介

公益財団法人
水道技術研究センター

Aqua-Leading, Innovative and Sustainable Technology

水道施設の点検を含む維持・修繕に関する新技術事例集

◎Aqua-LIST (アクアリスト) とは？

新技術の活用 of 取組みを支援するため、水道施設の点検を含む維持・修繕に関する先端的、革新的、持続可能な技術を情報収集及び調査し、有用性が高いものをリスト化し、水道施設の維持・修繕に関する新技術事例集 (Aqua-LIST) として、水道技術研究センターのウェブサイトで公表するものです。

新技術を保有する企業

例えば



ドローンを活用した点検を行う技術！

振動センサーを活用した水道管の漏水検知システム



タブレット等の端末を活用した維持管理情報等を管理する技術

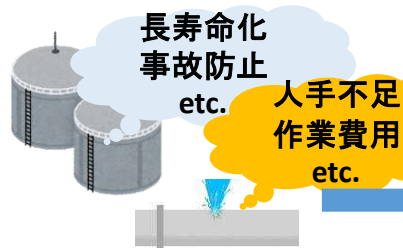
Aqua-LISTに新技術を掲載



新技術情報

※Aqua-LISTの掲載には、審査料及び掲載料がかかります

新技術を必要とする事業者



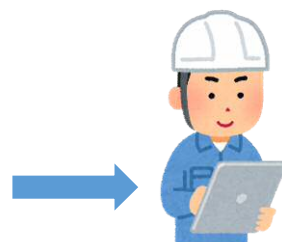
長寿命化
事故防止
etc.

人手不足
作業費用
etc.

適切な管理、予防保全
の必要性



効果的な点検を含む維持・修繕方法検討
(Aqua-LISTによる情報収集)



新技術
導入！

適切な管理(事故防止)・予防保全(投資抑制)の実施

◎Aqua-LISTの公表時期と掲載期間は？

- 公表時期：四半期ごとに公表予定 (新技術の申請があった場合に限る)
- 掲載期間：掲載開始から3年間 (掲載企業からの申請により、再度延長可能)

※Aqua-LISTについてのお問い合わせは Aqua-LIST事務局 (裏面記載) までお願いします。

Aqua-Leading, Innovative and Sustainable Technology

水道施設の点検を含む維持・修繕に関する新技術事例集

◎Aqua-LIST対象の新技術とは？

水道施設において人手に代わる又はより高度な維持・修繕が可能な技術

事業者による導入実績がある技術

技術評価・確認済みの技術

水道事業者
※用水供給事業者含む

水道事業者以外
※水道施設への適用可

OR

公的機関

◎対象技術区分は？

点検

保全

修繕

(長寿命化、予防保全等)

(補修、補強含む)

維持

その他

(運転、巡視、監視、保守、診断等)

◎対象施設は？

取水
施設

貯水
施設

導水
施設

浄水
施設

送配水
施設

計装
設備

その他

◎厚生労働省との連携プロジェクト！

厚生労働省

JWRC

新技術の導入推進
(新技術導入状況調査)

新技術事例集取りまとめ
(Aqua-LIST)

新技術の
積極的な開発・掲載

新技術の
積極的な活用検討

新技術保有企業

水道事業者

効果的な点検を含む維持・修繕の実施



厚生労働省
ウェブサイト
アクセス用

厚生労働省ウェブサイト (抜粋) R3. 6. 1現在

※ウェブサイトURL

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/topics/bukyoku/kenkou/suido/seibi/index_00012.html

水道施設の点検を含む維持・修繕を適切に実施していくにあたっては、新技術の採用や創意工夫により効果的に実施することが望ましく、厚生労働省では、新技術の導入を推進するため、先進的な新技術の導入事例に関する詳細調査を行っています。また、(公財)水道技術研究センター(JWRC)と連携し、新技術を用いた具体的な点検方法や活用事例をとりまとめる予定です。(公財)水道技術研究センター(JWRC)を事務局とし、新技術事例集検討委員会が設置されています。

水道事業者等において、水道施設の点検を含む維持・修繕にあたり、水道施設の合理的かつ効率的な管理に資する観点から、新技術の積極的な活用の検討を促しています。

◎厚生労働省コメント

水道法改正はもちろん、財政負担を軽減するためにも、公共インフラの点検・維持管理技術は非常に大きな意味を持っている。情報収集、その結果の広報を含めた協力体制がJWRCと取れればと思っています。

医薬・生活衛生局水道課

◎検討委員会委員長コメント

多くの民間企業において様々な新技術の開発が試みられている中、水道施設において実績があり信頼性の高い新技術を全国規模でリスト化することで、多くの事業者での普及促進が大いに期待されます。積極的な応募を期待しております。

東京都市大学 教授 長岡 裕

◎お問い合わせ先

公益財団法人 水道技術研究センター **JWRC**

Aqua-LIST事務局：日下部、上田 (調査事業部)

TEL：03-5805-0264 E-Mail：a-list@jwrc-net.or.jp

※Aqua-LISTの詳細情報は、

JWRC Aqua-LIST



で検索してください！



Aqua-LIST
ウェブサイト
アクセス用